

昆虫採集に出掛けよう！

子どもの頃、夏休みになると山や林に行つて、カブトムシやクワガタムシ、アブラゼミなどを夢中になって捕まえたりしていましたか？
しかし、大人になってから久しぶりに捕まえてみようとして、「どこに行けばカブトムシがいるのか分からない」「近所に林があるけれどどの木を見ればいいのかよく分からない」「昆虫採集なんてしたことがないから、どうしたらいいのかよく分からない」というかたも多いと思います。
福津市内にも昆虫たちと出会える場所がたくさんあります。昆虫採集に絶好のシーズンです。久しぶりに昆虫採集にチャレンジしてみませんか？

Q 昆虫はどこに行けば会えるの？

A お目当ての昆虫によって違います

目的の昆虫を見つけるには、彼らがどんな生活をしているかを知る必要があります。例えばカブトムシは主に夜に活動するため、昼間に探してもなかなか見つかりません。
また、カブトムシの食事場所である木を探すのも一つの手ですが、どんな木でもいいわけではありません。好む木はクヌギやコナラなどと種類が決まっているため、それを把握しておくのも見つける近道です。
市内にある昆虫採集のおすすめスポットを紹介します。



あんずの里 自然観察園

あんずの里運動公園の奥にあります。クヌギやコナラをはじめ、さまざまな種類の木があります。
■開園時間 6:00～19:00



大峰山自然公園

森に囲まれた大峰山自然公園にはクヌギやコナラの木もあって、カブトムシやクワガタムシに出会える可能性が高いスポット。



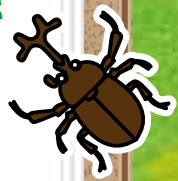
わかたけ広場

芝生広場にはバッタやチョウ、トンボがたくさんいます。春や秋にはアサギマダラが飛来する姿が見られます。
■開園時間 9:00～17:00



飯盛山

10分ほどで山頂まで登れる山です。登山口の近くは竹や桜の木が多いですが、山頂付近にはブナ科の木が生えています。



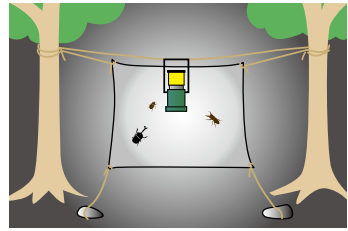
Q どうやって捕まえるの？

A こんな方法があります

最も一般的な方法は、「網」を使って掃く(sweep)ようにして捕まえるスイーピング法です。皆さんも一度はやったことがあるのではないのでしょうか。他にもさまざまな方法がありますが、ここではワナを仕掛けて昆虫たちをおびき寄せ、捕まえるタイプの採集方法を紹介します。

ライトトラップ

夜間に昆虫などが光に向かって飛んでくる習性を利用する方法です。白い布を張って強い光を当てると、さまざまな昆虫が寄って来ます。



果実トラップ

熟した果実は昆虫たちの格好の餌。人為的に熟した果実を作って昆虫の集まりそうな木に仕掛け、おびき寄せるのが果実トラップです。



街灯収集

ライトトラップと同様、昆虫が光に向かって集まる習性を利用する方法です。緑に囲まれた公園などの街灯の下にカブトムシやクワガタムシが落ちていることがあります。下準備が必要ないため、子どもにも簡単にチャレンジできます。山奥にボツンとある自動販売機などもおすすめです。ポットです。



実際にやってみました

大峰山で、日没を待ってライトトラップと果実トラップを実際に仕掛けてみました。待つことおよそ3時間。いろいろな種類の生き物が集まって来ました。この他にガ、ダンゴムシ、アリなども集まって来ました。



▲カブトムシ(オス)×1



▲クロコガネの一種×1



▲ヒラタクワガタ(オス)×1



▲コクワガタ(オス)×1



▲ゴキブリの一種×1



▲カブトムシ(メス)×2



▲ニホンヤモリ×1



昆虫採集する時の注意点

野外での昆虫採集はとても楽しいものです。しかし、野外に出ることは危険も伴います。昆虫採集に出掛ける時は、次のことに注意して楽しみましょう。

●服装

肌を守るために長袖・長ズボンを着用するようにしましょう。また、歩きやすい運動靴を履き、帽子も忘れずに持って行きましょう。※ハチが近付いてくることがあるので、黒い服や帽子は避けましょう。

●熱中症

暑い場所に長時間いることで体温調節ができなくなると熱中症を発症することがあります。野外に出る時は風通しのいい日陰で時々休む、水分や塩分を頻繁にとる、日差しが強い日は必ず帽子をかぶるなどして熱中症を予防しましょう。

●天候

野外に出る前に必ず天気予報を確認しましょう。また、警報が出たら野外に出ることは避けましょう。雷が鳴ったら、傘をささず、しっかりと建物や車の中に避難し、木や電柱など背の高いもののそばには近寄らないようにしましょう。



▲マムシ



▲スズメバチ

●危険な生き物

野外にはマムシやスズメバチ、ムカデの仲間など毒のある生き物もいます。他にもアブの仲間など刺されると痛みを伴う生き物もいます。野外に出る時は図鑑などで危険な生き物の正しい知識や予防、対処法を知ることが必要です。

●落石・落枝

雨の時や雨上がりは地盤が緩んでいるので、特に落石に注意し、崖などにはなるべく近寄らないようにしましょう。また、強風の時は、折れた木の枝が落ちてくることがあるので注意しましょう。

しよう。避難の際には車のボディには触らないようにしましょう。

福津の自然と昆虫

福津市にはさまざまな環境があり、さまざまな昆虫が見られます。昆虫はどれも個性的な姿形をしており、生活の仕方もさまざまで、観察していくとまだまだ新しい発見があります。ここでは環境別の昆虫と観察の仕方を簡単に紹介します。



福岡県保健環境研究所 農学博士 中島 淳さん

森林 ヒラタクワガタやノコギリクワガタ、カブトムシなどが見られます。これらの昆虫を探すには、スギやヒノキの植林された山ではなく、コナラやクスギなどの広葉樹が多く生えている山で探すのが重要です。樹液の出ている木を探して捕まえるのが基本ですが、木を蹴ると上の方にいた昆虫が落ちてくることもあります。

草原 トノサマバッタやニシキリギリス、チョウの仲間などが見られます。バッタやキリギリスの仲間は近付くと飛んで逃げるので、逃げた先を見失わないようして、そっと近付いて網で捕まえます。

河川 河川にはカゲロウやトビケラの幼虫が生息しています。特に流れの早い瀬の石の裏に潜んでいるので、石の下流側にタモ網を設置して石をひっくり返し、水の流れを利用して網に流し込む方法で捕まえられます。

ため池・水田 トンボの仲間やゲンゴロウの仲間などが見られます。飛んでいるトンボを網で捕まえるのは難しいですが、うまく網に入った時のうれしさは格別です。タモ網で水際の植物の生えている辺りをすくうと、ゲンゴロウやガムシの仲間が採集できるでしょう。

捕まえた昆虫の名前を調べる図鑑として「小学館の図鑑NEO昆虫(小学館)」「日本の昆虫1400①と②(文一総合出版)」は入門用としておすすめです。また、より詳しく種類や標本の作製法を知りたい、という人々には、増補改訂版「昆虫の図鑑 採集と標本の作り方 南方新社」が良いでしょう。

ぜひ、お気に入りの図鑑とともに野外に出掛けて昆虫を観察してみてください。